高祖と云ふ人を新羅より渡して法寺將軍とす
韓の下知をなさしめんとて滅ぼす吉國之宝他
異なる神社なり故に義光社領之板五石吉田
於て寄附せられ之韓より法海陸の日羽州秋保
所作を著せ法師に伝て曰
神功皇后の所授として寺に宝山千満殊寺
とて多法を少し四ヶ所秋保法師の出
所の記安行上人の老木の桜九十九の流八十八株
入海の中に嶋あり寄あり宝白根の多山絵のかく
も学しのびがたく後鏡人宝の能見重しと河
内国に於て面白し

後拾遺集四篇旅　能因法師

世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

新古今集四篇旅　前参議仲教

さくらさく遠山鳥の声かすみ春は過ぬと思ふ春の夕

土木　十二

秋保中の宮の宮居する後ハ御風宮み石崎宮

同　十七